

# 十両以上の行司の軍配

根間弘海\*

## 1. はじめに

私は平成23年9月場所、幕下2名を含む十両以上の行司を対象に軍配に関するアンケート調査を行った<sup>1)</sup>。本稿はその調査結果の報告である<sup>2)</sup>。本稿では各行司が記入したものをできるだけ忠実に提示してある。アンケート調査の目的は、主として次の四点を確認することにあつた<sup>3)</sup>。

- (a) 行司は軍配を何本ぐらい持っているか。
- (b) 軍配は本場所用と巡業用に区別しているか。
- (c) 軍配の贈呈者は具体的にはどんな人たちか。
- (d) 軍配は自分で作成することもあるか。

これ以外にもいくつか調査してあるが、それはデータの正確さを補足するためのものである。将来、この二次的な資料が何らかの形で役立つかもしれない。

軍配は行司のシンボルだと言ってもよい。行司は取組を裁く時、軍配を使用することになっている。このことは「審判規則」(行司)の第一条に明記されている。

「第一条 行司が審判に際しては、規定の装束(直垂、烏帽子)を着用し、軍配を使用する。」

行司になれば、最初の軍配は普通、先輩行司や部屋の師匠などが贈呈する。幕下時代までは軍配の数もかなり少ないが、十両以上になるとその数も増える。軍配は個人の持ち物だけに、数も違う

---

\*専修大学経営学部教授

し、見栄えも違う。地位によって数が違ったり見栄えが違ったりというわけでもない。下位行司の軍配が上位行司の軍配より見栄えのよい場合もある。規則でも「軍配」の携帯に関しては述べてあるが、軍配の形状や材質などについては何も述べていない。軍配の表面には文字、紋、絵図などがある場合もあるし、何も書かれていない場合もある。表面をどのようにしても自由である。軍配の形状にも何の制限もない。要は、「軍配」であればよいのである。

行司は協会の一員であるし、取組も裁いていることから、軍配も何らかの形でその調達のコストを協会が出しているはずだと思いがちだが、実際は何も負担していないし、援助もしていない。行司に入門した人でも自分で軍配は調達しなければならないが、実際は、先輩行司や一門の行司や部屋師匠などが贈呈している。その軍配は新品の場合もあるし、先輩行司の使い古しの場合もある。十両になってから「高級感のする」軍配を持つようになる。その軍配は贈呈される場合が多いが、自分で調達する場合もある。

現役行司の軍配の実態がどうなっているかを確認するためにアンケート調査を実施したが、この結果は将来何らかの形で貴重な資料になるに違いない。相撲の本でも過去の行司の軍配はときどき見ることができるが、一つのまとまった形ではない。たとえば、立行司の軍配はあってもそれが誰にいつ贈呈されたものかは分からない。また、その行司が軍配を何本持っていたかもまったく分からない。このようなことに関心があった場合、本稿のような資料があると非常に役立つはずである。現在はあまり意味を持たなくても、いつかは必ず大きな意味を持つはずだ。

## 2. 軍配アンケート調査の依頼書

アンケートを調査するときに各行司になぜ調査をするのか、誰の許可を受けて調査をしているのかなどを記した簡単な依頼書を添付した。それを以下に示す。

### 軍配アンケートの調査について

平成23年9月場所中  
根間弘海  
専修大学教授

※このアンケート調査は立行司・木村庄之助の許可を受けています。ご協力のほどお願いします。

軍配は行司の命だとよく聞きます。軍配を使うのは行司だけです。取組を裁くとき、勝ち負けを示すのは軍配です。軍配の指し示す方角の力士が勝ちです。もつれる相撲で、力士は瞬時に軍配の方向を見上げます。行司は軍配を手にした時、自分が行司だということを再確認するはずですが、行司と軍配は一体だと言っても過言ではありません。

行司は軍配をかけがえのない持ち物として大事に扱っています。その持ち物について興味があるので、簡単なアンケートを実施したいと思います。質問項目の内容は、次の示すように、実に素朴なものです。

- (a) 何本持っていますか。



a. 文字 b. 絵図 c. 家紋 d. 何も書いてない e. その他 ( )

- 文字の場合は、その文字を書いてください。絵図や家紋の場合は、描かれているものを簡単に説明してください。

表：

裏：

- 文字の場合は、その意味を簡単に説明してください。

表：

裏：

軍配について何かお伝えしたいことがあれば、次の余白に書いてください。

### 3. 各行司の軍配

アンケート項目と整理した項目とが異なる場合があるので、それを簡単に説明しておく。

- (a) アンケート調査では二つにまたがる項目を紙面の節約のために一つの項目にまとめてある場合がある。たとえば、軍配の表面に文字があり、それが「決断一瞬」の場合、アンケート調査では別々の項目に記入しなければならなかったが、ここでは「文字（決断一瞬）」として一つにまとめてある。
- (b) 項目の説明は〈…〉で示してある。たとえば、文字「決断一瞬」〈ちゅうちょなく思い切り決断する〉とある場合、「決断一瞬」の意味は〈 〉の中で示してある。
- (c) 選択肢がいくつかあり、いずれかを選択すべきだが、どの項目も選択していない場合がある。そういう場合は「選択なし」としてある。
- (d) 語句や数字を記入すべき箇所があるが、それに何も記入してない場合は「記入なし」とか「何も書いてない」としてある。
- (e) 贈呈者の間柄や贈呈の年月を表す場合、句読点やスペースを厳密に守っていない場合もある。行司によっては句読点を使わず、スペースを空けている。そういう場合、句読点を挿入することもある。また、その逆の場合もある。

ここで整理してあるものは内容的にアンケート調査に記入してあるものと同じである。異なることがあるとすれば、表現の仕方だけである。

軍配はそれぞれ寄贈者や作成時が異なるので、それぞれ別個に記載することにした。一見すると、内容的に同じだが、詳細をみるとそれぞれ異なる。一つにまとめてしまうと異なる部分が隠れてしまう恐れがあるので、あえて別々に扱うことにした。

A. 立行司

○ 木村庄之助（立行司）

- ① 全部で： 2本 ・本場所用： 1本 ・巡業用： 1本
- ② 昇格したときに自分で作成： ある
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ある
- ④ 作成場所： 東京と京都

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 延岡有志一同
- ④ 表面の様子： 文字（決断一瞬）〈ちゅうちょなく思い切り決断する〉
- ⑤ 裏面の様子： その他（木村城之介，年月日，書家，西田玄豊）

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 立行司（庄之助）から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 文字（龍神）〈屋号名の一部〉
- ⑤ 裏面の様子： 龍の絵

○ 式守伊之助（立行司）

- ① 全部で： 6本 ・本場所用： 5本 ・巡業用： 1本
- ② 昇格したときに自分で作成： ある
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ある
- ④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十両格から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 兄弟
- ④ 表面の様子： 家紋 〈丸に四ツ銀杏〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（昭和60年1月吉日 兄弟一同）

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 十両格から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 東京後援会
- ④ 表面の様子： 文字（心技一体）〈精神面と精神力，技能，技術一体〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（東京後援会代表 進藤）

軍配 (3)

- ① 使用開始の位階： 幕内格から

根間弘海

- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 東京後援会
- ④ 表面の様子： 絵図（風神，雷神）〈風をつかさどる神，風天，光の神，雷公〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（平成7年1月吉日 東京後援会）

軍配 (4)

- ① 使用開始の位階： 幕内格から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 東京後援会
- ④ 表面の様子： 文字と絵図（ダルマ，至道）〈この道に行きつく，極める〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字と家紋（下がり藤，東京後援会）

軍配 (5)

- ① 使用開始の位階： 三役格から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 東京後援会
- ④ 表面の様子： 文字と絵図（慧眼法水，藤）〈研ぎ澄まされた目で物事を洞察する〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字と家紋（東京後援会，丸に井桁）

軍配 (6)

- ① 使用開始の位階： 立行司から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 井筒部屋姫路市後援会長
- ④ 表面の様子： 家紋（丸に結 カタバミ）
- ⑤ 裏面の様子： 文字（平成22年1月吉日 姫路市平錦建設延澤忠行）

B. 三役

○ 木村玉光（三役）

- ① 全部で： 4本 ・本場所用： 2本 ・巡業用： 2本
- ② 昇格したときに自分で作成： ある
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ない
- ④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 自分
- ③ 間柄： 記入なし
- ④ 表面の様子： 家紋（松川菱）
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈

- ③ 間柄： 兄弟子
- ④ 表面の様子： 絵図（カップ）
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (3)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 先代玉光
- ④ 表面の様子： その他（三日月）
- ⑤ 裏面の様子： その他（記入なし）

軍配 (4)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 二十九代庄之助
- ④ 表面の様子： その他（メモウ石で鳳）
- ⑤ 裏面の様子： その他（記入なし）

○ 木村庄三郎（三役）

- ① 全部で： 2本 ・本場所用： 1本 ・巡業用： 1本
- ② 昇格したときに自分で作成： ない
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ない
- ④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 後援者
- ④ 表面の様子： 家紋（家紋）
- ⑤ 裏面の様子： その他（寄贈者の名前）

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 記入なし
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 後援者
- ④ 表面の様子： 家紋（家紋）
- ⑤ 裏面の様子： その他（人名）

○ 木村正直（三役）

- ① 全部で： 10本 ・本場所用： 1本 ・巡業用： 1本
- ② 昇格したときに自分で作成： ある
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ある
- ④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 前 木村正直（初代正直使用，代々正直使用）
- ④ 表面の様子： 文字（丹心忠貞抱）〈真心をもって忠義の正しさを抱く〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（天壤60年 しこをふみかためる千世の礎）〈人生60年 しこをふめば，千世の礎まで生きられる〉

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 文字（春風駘蕩）〈人のようすのおだやかなさまのたとえ〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（贈り主の名前）〈竜王・名人，谷川浩司（棋士）〉

軍配 (3)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 郷土の先輩
- ④ 表面の様子： 文字（無心入魂）〈何の考えもなくむじゃきなことにたましいを入れる〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（贈り主の名前）〈藤井丙午，参議院議員，新日鉄副社長〉

軍配 (4)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 23代庄之助の子息
- ④ 表面の様子： 絵図 〈京都御所の紫宸殿〉
- ⑤ 裏面の様子： その他（新聞4社の会社のマーク）〈朝日，毎日，読売，時事の会社のマーク。木村正直の名前入り，初代正直に贈る〉

軍配 (5)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 家紋（家紋）〈剣かたばみ〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（贈り主の名前）〈酒井静夫〉

軍配 (6)

- ① 使用開始の位階： 三役から
- ② 寄贈の有無： 自分
- ③ 間柄： 記入なし
- ④ 表面の様子： 絵図 〈鷹が矢を持っている〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（心）〈贈り主，絵を描いた人の名前，日本画家 石原進〉

軍配 (7)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 文字（明歴々 露堂々）〈雑念をはなれ，心が一点の曇りもなく，明らかな様子〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（贈り主の名前）〈鎌倉 建長寺管長 吉田正道〉

軍配 (8)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 文字（努力超人）
- ⑤ 裏面の様子： 文字（贈り主の名前）〈山口敏夫，元衆議院議員〉

軍配 (9)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から 〈この軍配は24代式守伊之助が伊之助時代に使用していた〉
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 前木村正直（24代式守伊之助の知人）
- ④ 表面の様子： 絵図 〈鯨〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（贈り主）〈戦友会，富美代会より〉

次のような記入もある〈幕下以下の時に使用した次の軍配です〉

- ① 表：文字（不動心），贈り主（田川鶴雄より）  
裏：27代木村庄之助書
- ② 表：文字（心技体），贈り主（岩本正夫より）  
裏：岐阜県知事（上松陽助より）
- ③ 表：文字（至誠一貫）  
裏：通商産業大臣（武藤嘉文）
- ④ 表：文字（心技一体）  
裏：農林水産大臣（武藤嘉文）
- ⑤ 表：文字（本立道生）  
裏：建設大臣（渡辺栄一）
- ⑥ 表：文字（寂然不動）  
裏：衆議院議員（山崎拓）
- ⑦ 他に3本ほどあります。

C. 幕内

○ 式守錦太夫（幕内）

- ① 全部で： 3本 ・本場所用： 3本 ・巡業用： 記入なし

根間弘海

- ② 昇格したときに自分で作成： ある
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ある
- ④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 伊勢錦, 一門の若者頭
- ④ 表面の様子： 文字 (決断新風) 〈行司の第一は決断〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字 (稲葉修書) 〈伝統の中にも新風を持ちこむように〉

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 選択なし
- ③ 間柄： 錦太夫譲り軍配
- ④ 表面の様子： 文字 (中道実相) 〈行司は右, 左にもかたよらず〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字 (栢木寛照筆) 〈公平に軍配を上げろ〉

軍配 (3)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 中学校同級生
- ④ 表面の様子： その他 (龍彫り物) 〈龍 (陰)〉
- ⑤ 裏面の様子： その他 (虎彫り物) 〈虎 (陽)〉

○ 木村和一郎 (幕内)

- ① 全部で： 4本 ・本場所用： 4本 ・巡業用： 記入なし
- ② 昇格したときに自分で作成： ない
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ある
- ④ 作成場所： 中西木工所, 他贈呈者が各自に

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人 (横浜市議 伊波洋之助 (現職), 元力士の関係で知り合った)
- ④ 表面の様子： 家紋 (たちばな) 〈和一郎紋〉
- ⑤ 裏面の様子： その他 (伊波洋之助より 平成4年1月6日) 〈娘の誕生日。子の誕生日が入っていることにより気持をより集中させるため〉

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 幕下以下から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 故人ですが代々伝わる武者絵 (前代大畑耕雲先生)
- ④ 表面の様子： 絵図 ((鍾 馗<sup>しょうき</sup>さん) 〈中国の神様〉)

- ⑤ 裏面の様子： 文字（署名）

軍配（3）

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 選択なし
- ③ 間柄： 28代庄之助
- ④ 表面の様子： 何も書いてない（貝がら材具）
- ⑤ 裏面の様子： 選択なし

軍配（4）

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 選択なし
- ③ 間柄： 28代庄之助
- ④ 表面の様子： 家紋（28代家紋）
- ⑤ 裏面の様子： 選択なし

軍配（5）

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 岩国哲人（出雲市長）
- ④ 表面の様子： 文字（一味清風）
- ⑤ 裏面の様子： 選択なし（署名）

軍配（6）

- ① 使用開始の位階： 幕下から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 岩国市長の前の市長（直良光洋出雲市長）
- ④ 表面の様子： 文字（緊揮一番）
- ⑤ 裏面の様子： 文字（署名）

次のような記入もある。

「重さの関係で（1）以外の軍配はほぼ使うことはありません。他の軍配は、折りを見て（3）と（4）を出羽一門の方にお譲り致したいと存じます。28代の付人をした関係で思い入れも深く必ず使用したのち。（5）と（6）は市長（出雲市）から頂いたものです。（2）は立派な絵ですが飾りにします。（数回使用したが）」

○ 木村玉治郎（幕内）

- ① 全部で： 記入なし・本場所用： 記入なし ・巡業用： 記入なし
- ② 昇格したときに自分で作成： 記入なし
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： 記入なし
- ④ 作成場所： 記入なし

軍配（1）

- ① 使用開始の位階： 十両

根間弘海

- ② 寄贈の有無： 選択なし（譲り団扇）
- ③ 間柄： 記入なし
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 自分
- ③ 間柄： 記入なし
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (3)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 自分
- ③ 間柄： 記入なし
- ④ 表面の様子： 文字（一瞬決断）〈読んで字のごとし〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（為六代木村玉治郎氏 平成二十年五場所 二十七代庄之助書）

軍配 (4)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 文字（動中静有）〈読んで字のごとし〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（為木村雅之助殿 平成拾四年初夏 二十七代木村庄之助書）

軍配 (5)

- ① 使用開始の位階： 三段目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 岐阜高山の後援者
- ④ 表面の様子： 文字（公平無私）〈読んで字のごとし〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（木村雅之助君 飛驒高山 田川鶴雄与利 昭和五十六年夏 二十七代木村庄之助書）

軍配 (6)

- ① 使用開始の位階： 序二段から
- ② 寄贈の有無： 自分
- ③ 間柄： 記入なし
- ④ 表面の様子： 文字（公平無私）読んで字のごとし
- ⑤ 裏面の様子： 文字（昭和戊午月 二十七代木村庄之助書）

○ 木村恵之助（幕内）

- ① 全部で： 5本 ・本場所用： 5本 ・巡業用： 記入なし
- ② 昇格したときに自分で作成： ある

- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ある
- ④ 作成場所： 名古屋市 中川区 内藤仏壇店 2 本、金沢市 輪島塗職人 1 本、不明 2 本

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 絵図（鳳凰の図）
- ⑤ 裏面の様子： 文字（平成六年一月，内藤隆志）

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 家紋（下り藤）
- ⑤ 裏面の様子： 文字（平成六年一月，内藤隆志）

軍配 (3)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 部屋後援会元役員
- ④ 表面の様子： 文字（温故知新）〈歴史思想古典など昔の事をよく調べ研究し，そこから新しい知識や見解をえること〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（恵之助賛江）

軍配 (4)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 師匠
- ④ 表面の様子： 文字（眞實無私）〈私心を無くして眞実を見極める〉
- ⑤ 裏面の様子： 家紋

軍配 (5)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 自分
- ③ 間柄： 記入なし
- ④ 表面の様子： 文字（盛年不重来 一日難再晨）〈時の流れは人を待っていてはくれずどんどん過ぎていく〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（及時當勉勵 歲月不待人）〈若い時は二度とは来ないから時を惜しんで勉学せよ〉

○ 木村庄太郎（幕内）

- ① 全部で： 7 本 ・本場所用： 7 本 ・巡業用： 1 本（7 本の中から）
- ② 昇格したときに自分で作成： ある

- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ある
- ④ 作成場所： 作成場所は分からない

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 先代 (14代) 庄太郎氏の息子さん
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 先代 (14代) 庄太郎氏の息子さん
- ④ 表面の様子： 絵図 (松)
- ⑤ 裏面の様子： 絵図 (桜と梅)

軍配 (3)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 29代伊之助氏 (私の前の善之輔氏)
- ④ 表面の様子： 家紋 (抱き茗荷の紋)
- ⑤ 裏面の様子： 文字 (元々の贈り主の名前)

軍配 (4)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 29代伊之助 (私の前の善之輔氏)
- ④ 表面の様子： 家紋 (梅鉢) 〈元栃錦の春日野親方の紋〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字 (春日野)

軍配 (5)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人 (木工業を営んでいる)
- ④ 表面の様子： 何もかいてない
- ⑤ 裏面の様子： 何もかいてない

軍配 (6)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人 (木工業を営んでいる)
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (7)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 自分
- ③ 間柄： 記入なし
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

○ 木村寿之介（幕内）

- ① 全部で： 4本 ・本場所用： 2本 ・巡業用： 2本
- ② 昇格したときに自分で作成： ある
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ある
- ④ 作成場所： 輪島

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 序ノ口から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 師匠
- ④ 表面の様子： 文字（一声無心）〈一声かけたら無心になれ〉
- ⑤ 裏面の様子： 文字（寄贈 大島武雄，27代庄之助書）

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 十両昇進時
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 名古屋後援者
- ④ 表面の様子： 家紋
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (3)

- ① 使用開始の位階： 十両昇進時
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 三重後援者
- ④ 表面の様子： 絵図
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (4)

- ① 使用開始の位階： 幕内昇進時
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 岐阜白鵬後援者
- ④ 表面の様子： 絵図（鳳凰）
- ⑤ 裏面の様子： 文字（精神一到）〈強い気力があれば必ず叶う〉

○ 式守与太夫（幕内）

- ① 全部で： 2本 ・本場所用： 1本 ・巡業用： 1本
- ② 昇格したときに自分で作成： ない

根間弘海

- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ない
- ④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 幕内から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

D. 十両

○ 木村元基 (十両格)

- ① 全部で： 2本 ・本場所用： 1本 ・巡業用： 1本
- ② 昇格したときに自分で作成： ある
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ない
- ④ 作成場所： 師匠の湊親方が作成してくださったので、どこで作成したかは分かりません

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 幕下格から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 部屋の師匠 (元小結豊山)
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 十両格から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 部屋の師匠 (元小結豊山)
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

○ 式守慎之助 (十枚目格)

- ① 全部で： 1本 ・本場所用： 1本 ・巡業用： 記入なし
- ② 昇格したときに自分で作成： ない
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ない

- ④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 現在使用中
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 29代木村庄之助の軍配
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

○ 木村堅治郎 (十枚目)

- ① 全部で： 7本 ・本場所用： 2本 ・巡業用： 0本 (5本は使っていない)
- ② 昇格したときに自分で作成： ある
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ある
- ④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 家内
- ④ 表面の様子： 絵図 (陰陽の図に雲がかかっている)
- ⑤ 裏面の様子： 家紋

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 知人
- ④ 表面の様子： 家紋 (赤色)
- ⑤ 裏面の様子： 文字 (知人の名前)

○ 木村要之助 (十両格)

- ① 全部で： 2本 ・本場所用： 1本 ・巡業用： 1本
- ② 昇格したときに自分で作成： ある
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ある
- ④ 作成場所： 石川県

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十両格から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 後援者
- ④ 表面の様子： 家紋 (贈り主の家紋)
- ⑤ 裏面の様子： その他 (贈り主)

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 幕下格から

- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 後援者
- ④ 表面の様子： 文字（決断無我）〈軍配を上げるときは無心〉
- ⑤ 裏面の様子： 選択なし

○ 木村朝之助（十両格）

- ① 全部で： 1本 ・本場所用： 記入なし ・巡業用： 記入なし
- ② 昇格したときに自分で作成： ない
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ない
- ④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十両から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 先代の33代木村庄之助
- ④ 表面の様子： 文字（静中動）
- ⑤ 裏面の様子： 文字（贈り主）

○ 木村隆男（十枚目）

- ① 全部で： 3本 ・本場所用： 2本 ・巡業用： 1本
- ② 昇格したときに自分で作成： ある
- ③ 昇格に関係なく自分で作成： ない
- ④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 部屋の師匠
- ④ 表面の様子： 文字（寂然不動）
- ⑤ 裏面の様子： 選択なし

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 玉治郎さんから頂いた
- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 選択なし

軍配 (3)

- ① 使用開始の位階： 十枚目から
- ② 寄贈の有無： 寄贈
- ③ 間柄： 35代庄之助親方から頂いた
- ④ 表面の様子： 何も書いてない

- ⑤ 裏面の様子： 選択なし

E. 幕下

○ 木村行宏（幕下）

- ① 全部で： 1本 ・本場所用： 記入なし ・巡業用： 記入なし  
② 昇格したときに自分で作成： ない  
③ 昇格に関係なく自分で作成： ある  
④ 作成場所： 多分、井筒？

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 序二段から  
② 寄贈の有無： 自分  
③ 間柄： 記入なし  
④ 表面の様子： 文字（風林火山）〈疾きこと風の如く，徐かなること林の如く，侵略すること火の如く，動かざること山の如し〉  
⑤ 裏面の様子： 文字（記入なし）

○ 木村勘九郎（幕下）

- ① 全部で： 3本 ・本場所用： 3本 ・巡業用： 記入なし  
② 昇格したときに自分で作成： ある  
③ 昇格に関係なく自分で作成： ある  
④ 作成場所： 記入なし

軍配 (1)

- ① 使用開始の位階： 幕下から  
② 寄贈の有無： 自分  
③ 間柄： 記入なし  
④ 表面の様子： 文字（所寶惟賢）〈いつの世においても一番大切な事は英知をつくすことである〉  
⑤ 裏面の様子： 文字（27代木村庄之助書）

軍配 (2)

- ① 使用開始の位階： 幕下から  
② 寄贈の有無： 自分  
③ 間柄： 記入なし 〈鉄刀木の木〉  
④ 表面の様子： 何も書いてない  
⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

軍配 (3)

- ① 使用開始の位階： 三段目から  
② 寄贈の有無： 寄贈  
③ 間柄： 知人 〈紫タンの木〉

- ④ 表面の様子： 何も書いてない
- ⑤ 裏面の様子： 何も書いてない

#### 4. おわりに

本稿の調査結果から冒頭に記した四点にはある程度正確に回答することができる。すなわち、大体、次のような回答になる。

- (a) 行司は軍配を何本ぐらい持っているか。  
行司は4本ないし6本持っているのが普通である。中にはそれより少ない行司もいるし、多い行司もいるが、それはわずかである。
- (b) 軍配は本場所用と巡業用に区別しているか。  
行司はほとんど本場所用と巡業用の軍配を別々に持っている。中にはわずかながら区別をしない行司もいる。巡業用としては1本が普通だが、中には2本の行司も何名かいる。
- (c) 軍配の贈呈者は具体的にはどんな人たちか。  
贈呈者は親しい知人、部屋や行司の後援者、親方、団体などである。中には家族から贈呈された者もいる。団体としては地域社会、会社、出身学校などがある。贈呈者は行司と何らかの形で関わりがあり、実際さまざまである。
- (d) 軍配は自分で作成することもあるか。  
贈呈された軍配が圧倒的に多いが、自分で調達した軍配を持っている行司もいくらかいる。所有している軍配をすべて自分で調達したという行司はいない。

調査した項目は他にもいくつかあるので、その項目を具体的に見ようと思えば、もっと細かく分析することも可能である。たとえば、次のような分析は可能である。

- (a) どのような文字が使われているか。
- (b) 文字や絵図と無地の割合はどうなっているか。
- (c) 先輩行司から贈呈された軍配とそうでない軍配の割合はどうなっているか。
- (d) 所有している具体的な本数（たとえば、3本、4本、5本、6本など）の割合はどうなっているか。
- (e) 譲り団扇と言われている軍配以外に代々受け継がれている軍配はないか。
- (f) 贈呈者を分類した場合（たとえば、知人、親方、団体、家族などのように）、その割合はどうなっているか。
- (g) 昇格時に贈呈された軍配とそうでない時に贈呈された軍配の割合はどうなっているか。
- (h) 贈呈された軍配と自分で調達した軍配の割合はどうなっているか。

このような話題などに関心があれば、もっと細かい分析をすることもできる。分析の素材はアンケートの中で調査項目として入っているからである。

本稿では軍配の型や形状について調査しなかったが、それは現在、ほとんどすべての軍配が卵型だからである<sup>4)</sup>。卵型は、もちろん、時の流れの中でたまたまそうなっただけであり、そうしなければならぬと決めたわけではない。以前は、瓢箪型が主流だった時期もあったし、瓢箪型と卵型が共に混じていた時期もあった。現在、瓢箪型は見られないが、近い将来、それが復活しないとも限らない<sup>5)</sup>。なぜなら、瓢箪型はいつの間にか廃れただけだからである。また、瓢箪型や卵型と異なる形状の軍配が現れないとも限らない。伝統を重んじる行司界で奇抜な形状の軍配を使用する行司が現れるとは思われないが、少し形を変えた軍配ならば現れるかもしれない。いずれにしても、現在の軍配の型になるまでにはさまざまな変化があった。どのような変化があったかとなると、必ずしも自明というわけではない。

ついでに、軍配に関し、まだはっきりしない点がもう一つあるので、それをここに記しておきたい。それは、軍配が相撲の中でいつから使われ出したかということである。これは解明が困難な課題だが、飯田道夫著『相撲節会』（人文書院、2004）に解明のきっかけになりそうな記述がある。

「軍配は早く寛治7年（1093）に使われた。『師通記』にこの年、右三府の『立合』が開いた扇をつかい、前例のないこと、と記されているから、これが立合に軍配を用いる濫觴といえる。」  
(p. 33)

これが事実を正しく反映しているかどうかは今後検討しなければならないが、手がかかりになる記述であることは確かだ。この記述をまだ見ていない人がいるかもしれないので、参考までに紹介しておく。

#### 〈注〉

- 1) アンケート調査をする際には当時の木村庄之助と式守伊之助を始め、多くの行司にお世話になった。中にはだいぶ遅れて記入したアンケート用紙を郵送してくれた行司もいた。ここに改めて感謝の意を表したい。
- 2) 行司の地位はアンケート調査をした平成23年9月当時に基づく。実際、中には現在の地位が上がっているものもあるし、当時の木村庄之助はもう引退している。そして当時の式守伊之助は木村庄之助になっている。それから行司名が当時と変わっているものもある。たとえば木村和一郎は式守勘太夫になっている。
- 3) 軍配やその形状に関しては、これまでも拙稿「相撲の軍配」（2003）、「軍配房の長さ」（2005）、「軍配の型」（2006）、「譲り団扇」（2006）などでも詳しく扱ってある。本稿は内容的に重なり合う部分もあるが、そうでない部分もある。なお、「譲り団扇」は少し改変され、拙著『大相撲行司の伝統と変化』（2010）の第3章として所収されている。
- 4) 最近では木村秀朗（幕下行司、千賀ノ浦部屋所属）が瓢箪型の軍配を使用していた。29代式守伊之助も善之輔を名乗っていた頃、瓢箪型の軍配を使用していたことがある。
- 5) 瓢箪型の軍配は卵型の軍配より作成が難しいということを話していた行司もいた。行司の持ち物をしまい込む開け荷（十両以上が持つ）でも卵型が簡単に整理できるらしい。もう一つ、テレビ写りがよいのではないかという話もあるが、これは原因としては弱い。なぜなら、卵型はテレビが現れる以前から主流となっていたからである。